

平成 20 年 5 月 16 日

会社名 小倉クラッチ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小倉 康宏
 (JASDAQ・コード 6408)
 問合せ先 常務取締役 河内正美
 TEL (0277)54-7101(大代表)

平成20年3月期通期業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 2 月 13 日の決算発表時に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成20年3月期通期連結業績予想値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (20年2月13日発表)	51,500	420	540	220
今回修正予想(B)	49,529	548	214	626
増減額(B-A)	1,971	128	326	406
増減率(%)	3.8	30.5	60.4	-
(ご参考) 前期(19年3月期)実績	50,840	1,210	1,556	816

2. 平成20年3月期通期個別業績予想値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (20年2月13日発表)	36,800	400	220	290
今回修正予想(B)	37,597	591	314	243
増減額(B-A)	797	191	94	47
増減率(%)	2.2	47.8	42.7	-
(ご参考) 前期(19年3月期)実績	36,865	483	782	463

3. 修正の理由

(1)連結業績予想

売上高は予想を下回るものの、当社の個別売上増加と原価統制活動などにより営業利益ベースで110百万円増加しました。経常利益については期末にかけて対ドル為替レートが急激な円高に振れたために為替差損が250百万円増加しました。さらに特別損失として投資有価証券評価損30百万円、減損損失60百万円を追加計上し上記の結果となります。

(2)個別業績予想

売上高は予想を上回り、原価統制活動と相俟って営業利益ベースで110百万円好転しました。また子会社からのロイヤリティー収入が予想よりも70百万円ほど増加しました。経常利益については期末にかけて対ドル為替レートが急激な円高に振れたために為替差損が150百万円増加しました。さらに特別損失として投資有価証券評価損30百万円、減損損失60百万円を追加計上し上記の結果となります。

以 上